

P2 ヒストリーインタビュー
P3 福島の美味しいもの食のフェア
P4 青年部・女性部だより
P6 いいものmekke
おうちカフェ凜
浪江町から福島市飯坂町へ新たな地での再スタート
P8 元気印!!ズームアップ
P10 Information 商工会だより
P12 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あきなくひと 商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

電気通信工事業から感動企業へ革新するブロードサービス(株) 千葉誠さんを訪ねました。

ヒストリーインタビュー

立体的思考で遠くも近くに!

2013.9.20
Vol.362



社歴をお聞かせください。

通信関連会社から脱サラし、一九九〇年五月に横浜市で創業したフタバ通信が弊社の前身です。同僚・後輩が自然に集まり皆からの後押しもあり、成り行きで創業しました。今考えると良い時代でした(笑)。

仕事で福島県に来県する内にこの土地が好きになり、今の南相馬市鹿島区にまず事務所を設け、次いでいわき市に、平成二十一年度よりは郡山店の三拠点体制で事業を行っております。

現在は、お客様の要望にお応えできるよう電気通信工事業以外に、救急レスキュー事業、ビジネスフォン事業、広告支援事業などを複合的に展開しております。

震災直後はいわき、郡山の二拠点体制で事業を行っていましたが、福島事務所を素早く復旧し、福島県の復旧・復興業務にあたっております。

救急レスキュー事業とは

電気通信工事業でお伺いするお客様から宅内外工事のついでに、パソコンの各種設定や修理を依頼されるケースが増加したため、お客様のニーズに対応する形で始めた事業です。

平成二十年よりコールセンターを弊社に設け、広告・保守対応で業界の大手企業様と連携しながらサービス提供を始めました。現在は、福島県内のお客様から年間約一五、〇〇〇件のご相談を頂き、パソコン各種設定、修理以外に、データ復旧・移行

サービス、IT関連サポートから広告支援などお客様の「困った」に救急で対応するサービスを提供しています。

感動企業への取り組みとは

楽しいところに、「人」は集まってくるものです。それはお客様、スタッフも同じと考えます。

しかし、電気通信工事業、パソコンの保守サービス業で、楽しさをアピールすることとは難しいですね。

既に読者の方の中にはご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、社員と一緒に考え、震災前より実施している感動づくりの取組みが、郡山店の「店頭ステージショー」です。

開始直後は、皆さん…の反応でしたが、徐々に歩行者の方、信号待ちしている運転手の方から応援が増え、継続することでショーが認知され始めました。次第に、地域のフリーペーパー、テレビ局からお声掛け頂き、昨年度はテレビ朝日系の「ナニコレ珍百景」にて取り上げて頂き、最終的にはスペシャル番組でMV珍賞を頂きました。

ショーの企画はスタッフが自ら行い計画実行しております。決して会社からの押し付けで行っているのではありません。経営者として非常に感謝しております。

この企画から一歩進んで、現在進めている全社プロジェクトが感動事業「故郷」です。「家族の思い出を一つにまとめ、楽しく見ることができ、そして次世代へ渡す」を

商品テーマにソフトウェアを開発いたしました。

ブロードサービス(株)さんを訪問して

環境は常に変化し、経営には柔軟性と対応力が求められます。

会社に何うとスタッフの方々が楽しんで仕事をしている雰囲気を感じます。同社は、顧客の潜在ニーズを敏感に感じ、楽しさ・感動をコンセプトに、電気通信工事業からIT保守、広告支援事業そしてソフトウェア開発など事業を革新展開しております。

千葉代表は新規事業の計画作成時には、経営革新計画のフォーマットを活用し事業計画を作成、社内で事業デザインを共有化しながらプロジェクトを進めているそうです。

新規事業をお考えの経営者の皆様は、経営革新計画にトライして見ては如何か。



企業概要

- 企業名 ブロードサービス(株)
- 代表者名 代表 千葉 誠
- 住所 〒970-8023 福島県いわき市平鎌田山下68-2 第二水野ビル
- TEL 0246-25-5777 フリーダイヤル 0120-56-9909
- FAX 0246-35-7101
- ・ブロードサービス(株) <http://www.broad-s.net>
- ・パソコントラブル救急レスキュー <http://www.9909.jp>
- ・おもいで管理ソフト「故郷」 <http://www.furusato.ne.jp>



「福島的美味しいものの食のフェア」は、
風評被害払拭消費拡大事業 [福島の食ブランド再生プロジェクト] の一環として
今年も開催されます。

福島
美味

今、日本でいちばん安全に
気を使っているのは、
福島産の食品です。

FOOD BRAND

Delicious Brand Fukushima Societies of Commerce and Industry Recommends

福島的美味しいものの食のフェア 2013 会津

会場 会津アピオ アピオスペース
期間 平成25年10月5～6日(土～日)
時間 10:00～17:00
同時開催 「商工会うまいもん No.1 決定戦」(主催 福島県商工会青年部連合会)

福島的美味しいものの食のフェア 2013 郡山

会場 郡山総合体育館
期間 平成25年11月15～16日(金～土)
時間 10:00～17:00
同時開催 「こおりやま全市元気応援フェア夢商い2013(仮称)」(主催 郡山地区商工会広域協議会、郡山商工会議所)

青年部と地域との“絆”感謝運動



東日本大震災をはじめ各地で発生した災害における復興支援活動等でも改めて確認された青年部及び地域における「絆」について確認・感謝するとともに、今後もさらに強化していくこと等を目的とし、商工会青年部員が「青年部員同士の絆」「青年部と地域との絆」をテーマとした「絆」感謝運動を昨年度に引き続き実施しました。

本県においては、活動テーマを「クリーンアップに関わる事業（清掃活動・除染作業等）」とし、県内各所において様々な活動をしました。

中でも船引町商工会青年部では、日本五大文殊の1つに数えられる「安倍文殊菩薩堂」周辺の清掃活動を地元観光クリーンアップとして行いました。大玉村商工会青年部では、7月27日～28日開催の夏まつりに控えた広場周辺のゴミ拾いや芝生内の小石拾いを中心に行いました。檜枝岐村商工会青年部では、6月上旬にも関わらず尾瀬の木道に残る雪の除雪及び整備作業を行いました。小川町商工会青年部では、町の玄関口ともいわれ印象の1つとなっている小川郷駅を清掃奉仕活動として駅舎内及びプラットホームにて掃き掃除拭き掃除を中心に行いました。



「感謝!ありがとう!未来への挑戦!!」

平成25年度東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会 第13回東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会in福島

東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会及び第13回女性部主張発表ブロック大会は、平成25年7月25日～26日に郡山市熱海町「ホテル華の湯」において約350名が参加し開催されました。

本来ならば、大会を23年度に開催する予定でありましたが、東日本大震災や東京電力発電所事故により中止になり、今回2年遅れての福島県の開催となりました。



飯坂町商工会女性部 副部長 島田恵美さん

大会は、フラダンスの歓迎オープニングで幕を開け、東北六県・北海道の代表者からの主張発表が行われました。今年から一部要領が変更になり各発表前に地元PRの時間が設けられました。飯坂町商工会女性部 副部長の島田恵美さんは「女性部活動と地域振興・まちづくり」～花で和み 花で輪になれ、フラ和ー!輪ッ!～をテーマに福島県代表として発表されました。女性部として商店街活性化のために何か役に立つことができないか、おもてなしの心を表現できないかとの思いからスタートした「飯坂花咲か里コンテスト」が次第に反響を呼び仲間や人との絆ができるまでの、苦労

話も含めた素晴らしい発表でした。

基調講演では、「掘りだそう、自然の力。」～今カルビーが進めていること～と題し、カルビー(株)代表取締役社長 伊藤秀二氏より講演をいただきました。講演の中で伊藤社長は、素材本来の持ち味と地域性を活かした商品開発が消費者からの支持につながる。社員が主体となり、人づくりで企業の成長性を実現できる企業であることなど、カルビーの企業経営のカギについて話され、会場の女性部員は熱心に聴講しておりました。



基調講演の様子。カルビー(株)代表伊藤秀三氏



川俣町商工会女性部
部長 昆久美子さん



久之浜町商工会女性部
部長 遠藤政子さん



富岡町商工会女性部
前部長 矢内恵佐女さん

また、翌26日の全体研修会では、東日本大震災、原発事故に伴う、商工会女性部による震災復興の様々な活動をテーマに、川俣町商工会女性部 部長 昆久美子さん、久之浜町商工会女性部 部長 遠藤政子さん、富岡町商工会女性部 前部長 矢内恵佐女さんの3名より、各地区の震災復興活動について発表が行われました。震災直後に避難を余儀なくされた過酷な状況の報告や風評被害に負けてられないとして、それぞれの女性部が個性を生かし、また持ち前のフットワークの軽さを活かしながら、地域や仲間との絆を大切に地域振興の協力者として支援している活動を報告しました。



東日本大震災 復興応援プロジェクト版

2011年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、町民が福島県内外に分散避難している浪江町。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、新たな土地で再起をかけながら、町のコミュニティも失くさないように「そこから住民のつながる心を発信していければ」と、日々頑張っている事業所を紹介します。



玄関を開けるとかわいらしいペンギンの置物や昨年7月まで避難していた猪苗代の美味しい物、「おうちカフェ凜」オリジナルの商品が並んでいます。ペンギンさんは浪江のお店に置いてあったものを連れてきました。仲良く手をつないでいますが二人の関係は不明だそうです。親子 or 兄弟(姉妹) or 恋人・・・?

足を伸ばしながらゆっくり過ごせる和室のスペースや、お父さん・お母さんが目の届くところに、絵本などがある子どもたちが遊べるスペースもあり、のんびり食事やお茶ができるため、つい長居してしまいそうです。



リビングスペースから見えるテラス

和室のスペースですが「おうちカフェ」おうち感覚でとても落ち着きます

子どもたちが喜びそうな基地のようなスペース

おうちカフェ 凜

浪江町から福島市飯坂町へ 新たな地での再スタート

東日本大震災で津波の被害はありませんでしたが、東京電力福島第一原発事故で避難を強いられました。家族とともに何か所も避難所を移転したのち現在の避難先で再開を決意し、2012年11月8日福島市飯坂町に「おうちカフェ 凜」をオープンさせました。

店内には、ところどころにかわいい小物や大塚相馬焼など販売しています。美幸さんの手作りのマスコットや浪江の方々が作ったプレスレットなどもあります。



美幸さんの手作りマスコット 魚人「うおんちゅう」くんです



玄関先でかわいいオブジェがお出迎え 虫くんのようなオブジェは浪江の方からの贈り物



福島県福島市飯坂町月崎町12-6
TEL 024-573-1767 FAX 024-573-1768
営業時間 10:00~17:00
ランチタイム 11:30~14:00
ラストオーダー 16:30
定休日 日曜・祝日

● 出合いを宝物に・・・

オーナーの川島美幸さんは、浪江町で従業員を雇い飲食店を経営していました。

開業して6年ほど経っており、地元の商工会、女性部、JCに所属し、若いながら女性経営者として活躍していました。2011年3月の震災後、浪江町が避難警戒区域による避難指示を受け、避難生活を余儀なくされました。震災当日は、家族の無事を確認し避難させてから町の方々の安全確認のお手伝いをしていたといいます。そして突然の避難命令。戸惑う余裕もなく、家族とともに津島、福島、猪苗代と避難先を転々としました。自分も被災しているのに、行く先々で支援のお手伝いをして過ごしました。再開して忙しい現在でも、復興のために少しでも役に立つことが出来ればと、震災直後からお手伝いしているNPO法人の浪江町復興事業としての支援も役員として続けています。おかげで悩んだり悲しんだりしている余裕はなかったそうです。元々交流の広い美幸さんでしたが、新たにいろいろな人との出合いがありました。「震災はつらい出来事だったが、たくさんの方に出会えたことは自分の宝物になった」「失ったものより得たものの方が多いと信じたい」と話す美幸さんはポジティブシンキングの持ち主。話していると楽しくなってしまうのはそのせいでしょうか。

● 新たな地で恩返し

新たな地でのスタートは、不安でしたが一緒に避難してきている友人の助けがあったからこそ成し遂げられたこと。その方たちは現在もスタッフとして一緒にお店を切り盛りしてくれています。

お店には、同じく避難している浪江の方も多く訪れてくれますが、最近では近所の方にも受け入れられ来店してくれるようになりました。「いろいろな人の助けがあったからこそ、今の自分がある」。

お子さん連れの家族、近所の方、避難してきている方、お世話になった方、みんながゆっくり楽しめる憩いの場所になればと話してくれた美幸さんの優しい笑顔の奥に、お店の名前のとおり「凜」とした女性の力強さを感じられ、ふくしまは必ず復興できると確信しました。

● ランチメニュー

ランチ「メイン+サラダ+コーヒー付(980円)」は3種類から選べ、Aの『月替わりパスタ』とB『デミグラスソースオムライス』、C『焼肉プレート』。他にも、フレンチトースト・焼きおにぎりなど軽食やデザートが盛りだくさんで、ケーキもオーナーの美幸さんの手作りです。



トロトロ卵に特製のデミグラスソースがかかったオムライスと男性にも人気の焼肉プレート。結構ボリュームがありますが、中のご飯は古代米を使用しているため、とてもヘルシーです。



こだわりのコーヒー
豆はコーヒーの淹れ方を伝授してもらった群馬のお店から取り寄せています。

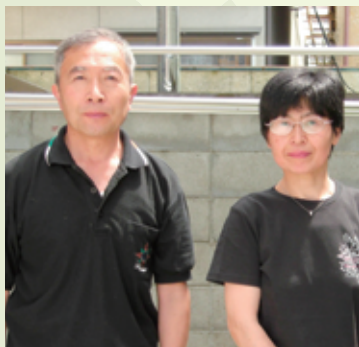
おいしいコーヒーのカップや料理に使うお皿などはすべて大堀相馬焼を使用しています。

県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

保原町商工会

「優しい温もり “入金真綿”作り職人の技」



石川彦太郎商店
石川 隆氏

〒960-0625 伊達市保原町2丁目9番地
<http://irikinmawata29.digi2.jp/>

■伝統品をSNSで販路拡大



石川彦太郎商店は、創業明治14年以来、「入金真綿」と呼ばれる良質な綿を使った真綿作りを営んでおり、その品質の高さから、1999年には、横浜市のシルク博物館にも展示・収蔵されました。石川さんが作る「入金真綿ふとん」は純国産、福島県産の厳選された綿を使用するため、1日1枚しか製造できません。熟練の技で、丁寧に作られた入金真綿ふとんを使ってみると、その軽さと暖かさに誰もが驚くそうです。

石川彦太郎商店四代目の石川隆さんは、先代より受け継がれた伝統と業を継承し、NHK「ここに技あり!」でも紹介されました。石川さんは伝統品を製造する一方、還暦を過ぎてはなお、インターネットでの販売とブログやフェイスブックなどのSNSを積極的に活用しての販路拡大に挑戦し、その人柄に魅せられたファンが全国各地に増えております。

石川さんのホームページから、お手頃な値段で「背負い真綿」や「真綿ほうし」を購入いただくことが出来ますので、多くの方にその優しい暖かさを体感していただき、日本の伝統文化に触れていただければと思います。

■「欠かせない存在」商工会。

「保原町商工会工業部会」に入っています。以前は、「蚕糸・真綿部会」という部会もありましたが、時代の変遷とともになくなりました。



保原町商工会の経営セミナーや、IT経営革新塾に積極的に参加して時代に乗り遅れまいと必死に頑張っています。

特に、「IT経営革新塾」は4年間お世話になり、小宮山真吾先生の指導のもと、若い塾生に発奮させられて、若い世代の考え方に共鳴したり、びっくりしたり、一緒に学び勉強になりました。

お蔭さまで、商工会のホームページSHIFTを使っている経営戦略は、「神様、仏様、商工会様」と言えるほど、弊店にとって欠かせない存在、頼りになっています。

また、申告・決算書類作成や、原発事故による損害賠償書類の作成等々、中小、個々の企業では、なかなかできないことも親切に指導していただき、大変お世話になってこちらも感謝に堪えません。



県中・県南

湖南町商工会

「お客様の好みに合った 缶詰めをつくります」



大山山菜加工
大山 健一氏

〒963-1631
福島県郡山市湖南町赤津字中町4298
TEL・FAX 024-983-2319

■委託加工

当社は、お客様の持参した品物を、心を込めて缶詰めに委託加工する事業をしています。主に山菜や豆類を缶詰めに加工しておりますが、大震災以来、保存食として缶詰めの重要性が見直され、現在では山菜に限らず汁物や果物まで注文があります。又、贈答品としての注文も多く、お中元やお歳暮用に利用するお客様も増えてきております。ラベルに独自のイラストやコメントなどを加えたお客様オリジナル商品もつくることができます。

結婚・出産・誕生日・卒業記念品・入卒祝・タイムカプセル・開業開店祝・イベントグッズ・企業宣伝用ノベルティ・プレゼントなどとして、何でも缶詰めに出来ますのでお気軽にご相談ください。



スピーディな対応が
モットーです。
心を込めて
缶詰めを作っています。

加工料(缶代込)
小180円(直径7.5cm×高さ11cm 容量453ml)
大240円(直径10cm×高さ12cm 容量870ml)

■自社商品販売

委託加工の他に、地元湖南町で採れた山菜などを缶詰めにして販売しております。



■商工会からの支援

震災による風評被害で売上が減少し悩んでいた中、商工会の経営指導員に相談したところ、経営の現状を分析いただき、課題に応じたアドバイスや提案、専門家による支援など、こちら側の立場になって積極的に支援して頂きました。お陰様でこれからの方向性や何をすべきかが見えてきました。本当に感謝しています。有難うございました。引き続きご支援を宜しくお願い致します。

会津

会津美里町商工会

「濃厚旨辛な担々麺を 遠方の方にも…」



有限会社喜楽屋 神龍
堤 恵介氏

〒969-6268
福島県大沼郡会津美里町字柳台甲2331
TEL 0242-54-2326 / FAX 0242-54-2988
営業時間 11:30~14:00
17:00~20:00オーダーストップ
定休日 火曜日

■事業紹介

当店は昭和元年に創業し、8年前に「喜楽屋 神龍」として会津美里町の高田駅前にリニューアルしました。先代から受け継いだメニューと私が修業を積んできたもので中華料理をベースにパスタやスリランカ産激辛カレーなど多種のメニューを取り扱っています。なかでも四川風担々麺はリニューアルして以来ずっと人気メニューの一つであります。辛さの中にゴマの風味と旨みがぎゅぎゅ詰まったスープに甘味噌のひき肉とチンゲン菜がマッチしてとても美味な仕上がります。



■商工会からの支援

ご来店されるお客様だけではなく、他の地域の皆様にも当店の担々麺を味わって頂きたいと思い、また常連のお客様からのお土産用担々麺の要望がたくさんあり、開発に踏み出しました。商工会さんには商品パッケージの作成支援や販路開拓支援を受け、現在では道の駅にしあいづ・新鶴温泉健康センター・本郷温泉湯陶里・西那須SA(上り)・あだたらSA(上り)などでも販売し、好評を得ています。

今後も、商工会さんには身近な経営相談窓口としての支援をお願いしながら、お客様の笑顔であふれるお店づくりをしていきたいと思っております。

浜通り

広野町商工会

「復興は、食にあり!!」



和風 みさか
代表 坂本 賢一氏

〒979-0404
双葉郡広野町折木字正木内224-1
TEL 0240-27-4571
営業時間 11:00~14:30
定休日 土・日曜日

■広野町の復興のため



ご紹介する「和風 みさか」さんは、平成14年に広野町の国道6号線沿いに和食専門店として創業し、隣町の久之浜漁港で仕入れた新鮮な地魚料理が自慢でした。仕入れから二時間後には皿に盛り付け、お客様に喜ばれていましたが、震災後は水揚げがないため、新鮮な魚を求め、毎朝いわき市中央卸売市場へ出向き食材を調達しています。以前は双葉郡内からの常連のお客様が多くいましたが原発事故により客足が減ってしまったため、店を閉めようかと迷った事もあったそうです。しかし「店を閉めれば、町の復興に繋がらない」との想いから住民や復旧



作業にきている人達のため、採算度外視で営業を継続されております。

■商工会を頼りに

商工会から補助金の制度を紹介され活用できたことで、地震により損壊していた店内の内装を修繕し、設備を入れ替える事が出来たので、現在は昼食の時間帯のみの営業ではありますが、復興に向けて頑張っているところです。

申請書の作成にあたり詳しく支援していただき非常に助かりました。今後とも経営のアドバイスをお願いしたいと思います。



Information

商工会だより

「いにしえから続く歴史ある村」

泉崎村商工会



泉崎村商工会長の
中野目喜一です。

泉崎村は人口六千
六百人、世帯数二千
戸、白河市に隣接し、
国道四号線、東北本線泉崎駅、近くには東北自動車道矢吹インターを有するなど、交通の便が良く、田園が広がる村です。

当商工会の本年度の重点事業は、組織率の向上と財政基盤の確立です。また多様化する会員ニーズに対応できる組織強化を目指し、役職員一丸となって尽力していきたいと思っております。

いずみざき桜ウォーク



毎年四月第三土曜日に
開催している「いずみざき

き桜ウォーク」も今年で十回目を迎え、春の風を感じながら桜の名所として知られる昌建寺の桜を見て廻るなど春を満喫しました。
ゴール後にはさつき温泉でお楽しみ抽選会が開かれ村内協賛事業者の賞品が参加者に贈呈されました。

泉崎村復興産業収穫祭

地産地消と地場産品の普及のため毎年十月下旬の日曜日に開催される産業収穫祭。震災の年から復興を願い、原発事故後の風評被害払拭を図るため「がんばろう！泉崎村復興産業収穫祭」を副題として地場産品市とうまいものと銘打ち祭りを盛り上げています。



地域情報

○観光

烏峠(烏峠稲荷神社)



この社殿造
営(天長五年西
暦八百二十八
年)には願望成
就の神としての
の伝説もあり
地方稀に見る
信仰の厚い神
社です。

権現造りで
特徴のある本
殿は、周囲の浮き彫りや透かし彫りは
技術的にも美術的にもすばらしく一見
の価値があります。

泉崎横穴(国重要文化財指定)



昭和初期に
東北で最初に
発見された壁
画古墳。横穴の
内部には、壁と
天井に騎馬像、
馬、馬を引く人
など描がかれ
ています。
年四回の一般
公開日には全
国から考古学
ファンが訪れ
ます。

一般公開は
四・五・九・十月の
第二土曜日

埴輪7体集合



泉崎村内を通る
陸奥の旧街道が
今も懐かしい
面影を残す。



泉崎の
旧街道
めぐり



この温泉は源泉そのまま、加熱も加水もしていません。湯量も豊富で全浴槽とも循環、濾過などせず、源泉100%の「かけ洗い」ですので、清潔で温泉効能も抜群です。どうぞゆっくりとご入浴下さい。



Information

商工会だより

「地域資源を活用した地域活性化事業」

西会津町商工会



西会津町商工会長
の伊藤真一です。

当会は国道四十九号線にある道の駅に「あいづ」交流物産館しあいづ「交流物産館よりつせ」の二階に事務所を構えており、この施設は西会津をはじめ、会津地域の特産品、民芸品等を取り揃えており、県内外から年間三十万人もの来町者を迎えています。

現在、この三十万人もの来町者いかに街なかの商店街に流入させるかが商工会が抱える課題として挙げられています。

当町は新潟県との県境で、越後街道の会津の西の玄関口にある主要宿場町として栄えた独自の文化があります。

また、東北の松山村塾とまで云われた渡部思斎による学塾「研幾堂」があり、ここから野口英世を手術した渡部鼎、現在NHK大河ドラマにも取り上げられている新島八重の兄、山本覚馬の建白書「管見」を弱冠十七歳で口述執筆した野澤鶏一、「国富論」を翻訳した石川暎作など優れた門下生が輩出された歴史があります。

そこで当商工会では、明治初期に建設された商店街中、心部にある蔵を利活用し、この類稀な西会津町の文化と歴史を後世へ伝え、街なか観光交流の拠点施設とする資料館「ふるさと自慢館」を開館・運営しています。

この施設と連動するイベントや地域を代表する催しなど、商工会が実施する地域元気づくり事業をご紹介します。

宿場文化まつり



先に紹介した「ふるさと自慢館」開館のこけら落としとして始まった商店街活性化イベント「宿場文化まつり」も本年で第六回を迎えました。

このイベントは地域の伝統芸能、郷土料理などを振る舞い、地域に伝わる宿場町としてのおもてなしの心を表現したイベントです。

実施内容は、郷土芸能では三味線やご当地のジャズバンドによるご当地ソングの演奏、地域に伝わる民族舞踊などの披露、また、昭和三十一年、町内一部



地域で水害により町民がブラジルへの移民を余儀なくされたという経緯があり、この繋がりが町内へ新しい文化の風を吹き込む浅草サンバカーニバル優勝チームによるサンバパレードの実施など来場者に楽しんでいただく催しを行っています。

郷土食の提供として、ニシンの甘露煮、こづゆ、いご、車麩等地場産品を活用した宿場御膳、青年部による福島うまいもん決定戦グランプリに輝いた西会津味噌ラーメンなど、当地域でしか食べられない食で来場者をおもてなしします。

本年は野沢駅開業百周年を迎えるにあたり、この「宿場文化まつり」と野沢駅開業百周年記念事業「鉄道つなぐ西会津美味いもの巡り」を同日開催します。これまでの宿場文化まつりに加え、福島県の食の安心・安全をPRするため、町内外のB級グルメを集めた「西会津町美味しいもの巡り」や、全国に三輪しか存在しないロータリーラッセル車を目指し町内の酒蔵などを巡るタイムスリップウォークをJRに協力を頂き実施するなど、これまで以上に来場された方をおもてなしの心でお迎えいたします。

本年の開催日は十月十三日(日)です。お誘い合わせの上で来場ください。

女性部事業



平成二十四年度に連合会の復興支援事業により、地域特産品を活用し、観光PRを実施すべく、西会津町が会津地域最大の生産量を誇る「赤ベコ」のプランターを製作、野沢駅や、道の駅にしあいづ、ふるさと自慢館に設置し、冬期間以外は常に綺麗な花を咲かせ来町者をおもてなししています。

青年部事業

女性部と同じく「赤ベコ」更に地域最大の霊地観光地である「大山祇神社」をモチーフとするご当地ヒーロー「丞神デナー」による地域PR活動を行っています。青年部ではこの事業でNPO法人を立ち上げ、観光・物産PRと子供の育成に取り組んでおり、自主制作による子供向け教育番組の少ない地元ケーブルテレビを活用した特撮番組の製作を始めました。

この番組は先のふるさと自慢館にも通じ、西会津町の歴史や文化など地域の良いものを子供たちに伝える情操教育番組となります。



福島県専門家活用経営支援事業をご活用ください

中小企業者等の課題解決のために専門家を派遣します。こんなときは是非ご相談ください。

- 経営改善 ●新事業分野進出 ●経営計画策定 ●効果的なホームページやチラシの作成・改善 ●税務・会計
- 事業承継 ●許認可 など

- 例えば製造業・建設業なら… ●品質管理・生産管理 ●生産工程の改善 ●作業改善・生産効率向上 ●労務改善・就業規則作成
- 現場改善小集団活動導入 ●ISOマネジメント導入 ●販路開拓
- デザイン(製品・企業ロゴ) ●知的財産権 など

- 小売業・サービス業なら… ●経営計画 ●店舗改装 ●店舗レイアウト改善
- 販売促進策(チラシ・ショッピングカード・売企画) ●POP技術 ●ラッピング技術
- デザイン(商品パッケージ・包装紙・看板) ●顧客管理 ●接客技術 ●新商品開発 など



①費用

費用については、専門家の派遣に係る謝金の5分の1(1回6,000円)が自己負担となります。また、支援の際に必要な材料等は、支援を受ける企業の自己負担となります。

なお、避難区域に事業所を持ち、移転を余儀なくされ県内で事業を再開、または再開後に事業継続のため支援を必要とする場合は無料となります。

②対象は創業予定者および中小企業者等です

創業予定者および中小企業者等が抱える様々な経営課題に対応いたします。

③専門家が直接お伺いしてアドバイス・支援にあたります

現場の状況を把握し、的確なアドバイスをいたします。

④一流の専門家を登録しています

専門家は各分野で長い経験と実績を持ち、的確に中小企業者等のニーズに対応できる人材ばかりです。

▶制度についてのお問い合わせ、お申し込みは、お近くの商工会へ

消費税の価格転嫁とは

- 事業者は商品の販売やサービスの提供の際に、原価に費用・適正な利益・消費税を上乗せして価格設定を行う(価格転嫁)。
- しかし、対消費者や取引先の力が強く、十分に費用・利益・消費税などを上乗せできないことが、立場の弱い小規模企業などでは多く見られる。
- 価格転嫁が十分にできないと、最終的には利益を削って消費税を納税することとなる。
- 小規模企業の多くは、簡易課税制度により、1年間の売上高を把握したのちに、消費税を納税しているため、利益が出ていないと、納税資金に窮することとなる。
- 全国連などの調査では、規模が小さくなるほど企業は消費税を十分に転嫁できていないと感じている。
- 消費税率が引き上げられれば価格転嫁ができないことは、企業の経営を左右する影響があるため、早急に転嫁対策を実施する必要がある。

毎年の消費税の支払いが厳しい

消費税が上がっても価格を上げられない

なかなか利益が出ない

消費税も上がるし、何か新しい取り組みをしたい。

消費税も上がるし、経理の見直しをしたい

こんな悩みを解決します。

商工会の消費税転嫁対策相談窓口では

- 経理・税務・新商品開発・販路開拓・経営革新・IT活用などの講習会
 - 専門家の派遣による個別の経営課題解決などを通じて中小・小規模企業の皆様を支援します。相談無料・秘密厳守です。
- まずは、お気軽に窓口へご相談ください。

あなたも家族もまるごと守る! 頼れる補償の

商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済



お申し込みはご加入の商工会まで

*「病気」の補償は「けが」の補償に加入されている方のみがお申込みいただけます。

